

# 京の食材 世界に羽ばたく 食品商談会レポート

本年3月14日、ジェットロ京都では海外6カ国・地域（欧州・中東・アジア）から輸入・卸売業者、小売業者等7社を招聘し、海外バイヤー食品商談会を開催いたしました。本商談会には関西地区を中心に55社の事業者から申し込みがあり、海外バイヤーと双方の要望や規制等を踏まえて事前に商談相手のマッチングをした結果、32社・団体が本商談会に参加し、49件の商談が行われました。

## 活発な商談

参加企業の取り扱い品目は、茶や酒のほか、肉、菓子、レトルト食品など幅広く、海外バイヤーは各社の商品情報・諸条件について興味深く聞き込み、各商談ブースでは活発な商談が交わされました。また、商談会の翌日には、食品工場や酒蔵、茶畑の協力のもと、バイヤーが製造現場を見学する機会を設け、京都の食文化に対する理解を促しました。今回の商談会では、30件以上の成約（見込み含む）があり、今後、多くの成果が期待されます。

## 商談成功に向けて

海外バイヤーの多くは、自国の和食ブームによって日本食の需要が増える一方で、すでに一部の品目では過当競争となっていることもあり、差別化できる日本食材を求めています。今回の商談会においても、バイヤーから好評だった商品に関しては、「具体的な調理方法を含めた商品提案がよかった」、「商品にストーリー性があった」などのコメントが多く、食材の珍しさだけでなく、海外バイヤーが自国でどのように販売してもらえるのか、現地での営業を意識した商品づくりが重要となっています。



海外バイヤーに売り込む京都の食品サプライヤー



茶畑を視察する海外のバイヤー一行

## ジェットロの海外バイヤー招聘商談会

ジェットロでは、世界74の海外事務所のネットワークを活かし、機械・部品や、農林水産物・食品、ファッション・デザイン関連分野における海外バイヤーを日本に招聘し、日本国内において海外企業と商談できる機会を設けています。また、商談会に向けてのセミナーや個別相談対応など、準備段階から販路開拓まで総合的な支援体制で皆さまの海外展開をサポートします。

## 2016年度新事業 「新輸出大国コンソーシアム」

ジェットロは、TPP協定の合意を契機に海外展開を目指す中小企業等の海外展開支援をさらに強化します。他の政府系機関、地域の金融機関や商工会議所など国内各地域の企業支援機関と連携し、ジェットロ内外の施策の紹介や海外ビジネスに精通した専門家による支援を行います。



【問合せ先】  
日本貿易振興機構 (JETRO)  
京都貿易情報センター

JETRO

所在地／〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134  
京都リサーチパーク2号館2階  
TEL／075-325-5703 FAX／075-325-5706  
E-mail／KYO@jetro.go.jp  
URL／http://www.jetro.go.jp/indexj.html